平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名 トレーディア株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9365　URL
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）鈴木 安雄
問合せ先責任者（役職名）取締役財務本部長　（氏名）山口 勝　TEL 078-391-7170

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,721	1.7	184	151.4	222	52.3	36	△53.7
23年3月期第3四半期	11,522	20.0	73	―	145	―	79	―

（注）包括利益　24年3月期第3四半期　67百万円　（―%）　23年3月期第3四半期　63百万円　（―%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2.50	―
23年3月期第3四半期	5.41	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,180	2,261	24.6
23年3月期	8,244	2,267	27.5

（参考）自己資本　24年3月期第3四半期　2,261百万円　23年3月期　2,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	5.00	5.00
24年3月期	―	―	―		
24年3月期（予想）				5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,880	5.3	290	314.0	320	125.1	130	77.4	8.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,700,000 株	23年3月期	14,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	39,031 株	23年3月期	37,803 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	14,661,654 株	23年3月期3Q	14,664,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を受けております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……2
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から回復基調にあるものの、欧州における金融危機、円高の長期化、タイの洪水などが影響し、依然先行き不透明な状態が続いております。

当社グループはこのような状況下におきまして、海外拠点の整備と拡充を行うとともに、積極的な営業展開に努めてまいりました。総取扱量は前年同期間比1.0％減少しましたが、売上高は117億21百万円余(対前年同期間１億99百万円余増)となりました。損益面につきましては、外注費比率が微減となり、営業総利益は前年同期間比15.3％増加し10億28百万円余(対前年同期間１億36百万円余増)となりました。営業利益は１億84百万円余(対前年同期間１億11百万円余増)、経常利益は２億22百万円余(対前年同期間76百万円余増)となりましたが、特別損失に投資有価証券評価損を１億72百万円余計上したことにより、四半期純利益は36百万円余(対前年同期間42百万円余減)の計上となっております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 輸出部門

輸出部門におきましては、金属製品が減少しましたが、機械機器製品が増加したことにより、輸出部門の売上高は前年同期間比5.5％増加し28億74百万円余、セグメント利益は２百万円余(前年同期間はセグメント利益13百万円余)の計上となりました。

② 輸入部門

輸入部門におきましては、繊維製品が減少しましたが、機械製品が増加したことにより、輸入部門の売上高は前年同期間比4.5％増加し45億67百万円余、セグメント利益は１億８百万円余(前年同期間はセグメント損失１百万円余)の計上となりました。

③ 国際部門

国際部門におきましては、国際輸出は東南アジアへの鋼材関連の取扱いは低調でありましたが、北米向け家電、建設機械及びベトナム向け火力発電プロジェクト部品の取扱いを伸ばしたことにより、国際輸出部門の売上高は前年同期間比10.50％増加し11億35百万円余の計上となりました。国際輸入は、一部家具、家電等の取扱量は増加しましたが、中国関連の靴製品、玩具、繊維等主力商品の取扱い及び主要代理店からのフリーハンド貨物の取扱いが大幅な減少となったため、国際輸入部門の売上高は前年同期間比7.5％減少し29億93百万円余の計上となりました。その結果、国際部門の売上高は前年同期間比3.2％減少し41億28百万円余、セグメント利益は59百万円余(前年同期間はセグメント利益39百万円余)の計上となりました。

④ その他

船内荷役、港湾関連及び倉庫業等の売上合計は前年同期間比8.0％減少し２億24百万円余となり、セグメント利益は前年同期間比32.4％減少し、14百万円余の計上となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ９億36百万円余増加し、91億80百万円余となりました。流動資産は４億44百万円余増の36億84百万円余、固定資産は４億92百万円余増の54億96百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金、現金及び預金等の増加によるものであります。固定資産増加の主な要因は、投資有価証券評価損計上による投資有価証券の減少等ありますが、土地の購入による増加等であります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ９億60百万円余増加し、50億19百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、17百万円余減少し18億99百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、長期借入金の増加がありますが、退職給付引当金及び役員退職慰労引当金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、６百万円余減少し、22億61百万円余となりました。これは、その他有価証券評価差額金の増加がありますが、利益剰余金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年11月４日公表の通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	588,637	783,126
受取手形及び売掛金	1,839,244	2,034,426
繰延税金資産	118,814	118,814
立替金	569,333	646,674
その他	126,510	103,806
貸倒引当金	△2,319	△2,240
流動資産合計	3,240,220	3,684,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,418,644	1,341,849
機械装置及び運搬具（純額）	22,850	24,862
工具、器具及び備品（純額）	10,146	9,482
土地	1,156,869	1,778,853
リース資産（純額）	87,751	80,673
有形固定資産合計	2,696,262	3,235,721
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	17,880	49,442
無形固定資産合計	52,440	84,002
投資その他の資産		
投資有価証券	983,632	874,701
差入保証金	815,338	811,936
その他	503,371	538,265
貸倒引当金	△47,066	△48,505
投資その他の資産合計	2,255,276	2,176,397
固定資産合計	5,003,979	5,496,121
資産合計	8,244,200	9,180,728

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,376,147	1,484,800
短期借入金	2,208,628	3,019,245
リース債務	31,262	34,614
未払法人税等	18,839	25,637
賞与引当金	193,550	105,248
その他	230,420	349,737
流動負債合計	4,058,848	5,019,282
固定負債		
長期借入金	1,470,287	1,535,402
リース債務	61,163	50,548
繰延税金負債	5,194	18,286
退職給付引当金	248,535	181,091
役員退職慰労引当金	132,406	114,594
固定負債合計	1,917,587	1,899,923
負債合計	5,976,435	6,919,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	1,331,466	1,294,845
自己株式	△8,542	△8,735
株主資本合計	2,228,352	2,191,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,412	69,985
その他の包括利益累計額合計	39,412	69,985
純資産合計	2,267,764	2,261,522
負債純資産合計	8,244,200	9,180,728

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
営業収入	11,522,134	11,721,805
営業費用	10,630,270	10,693,334
営業総利益	891,863	1,028,470
一般管理費	818,425	843,849
営業利益	73,437	184,621
営業外収益		
受取利息及び配当金	54,391	27,075
持分法による投資利益	23,043	24,144
その他	58,501	48,367
営業外収益合計	135,936	99,587
営業外費用		
支払利息	60,873	59,699
その他	2,558	2,173
営業外費用合計	63,431	61,873
経常利益	145,943	222,335
特別利益		
固定資産処分益	1,063	1,140
貸倒引当金戻入額	104	－
特別利益合計	1,167	1,140
特別損失		
固定資産除売却損	462	155
投資有価証券評価損	－	172,530
原状回復費	3,300	－
特別損失合計	3,762	172,686
税金等調整前四半期純利益	143,348	50,789
法人税等	63,935	14,048
少数株主損益調整前四半期純利益	79,412	36,741
四半期純利益	79,412	36,741

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	79,412	36,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,527	30,573
繰延ヘッジ損益	1,376	－
その他の包括利益合計	△16,151	30,573
四半期包括利益	63,261	67,314
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,261	67,314
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)1	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	2,704,650	4,366,145	4,262,501	11,333,297	188,836	11,522,134	―	11,522,134
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,368	3,792	―	23,160	55,592	78,752	△78,752	―
計	2,724,018	4,369,937	4,262,501	11,356,457	244,429	11,600,887	△78,752	11,522,134
セグメント利益又は損失(△)	13,809	△1,686	39,204	51,327	22,110	73,437	―	73,437

(注)１.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

２.セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	2,866,439	4,565,541	4,128,040	11,560,022	161,783	11,721,805	―	11,721,805
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,730	1,730	―	9,461	63,102	72,563	△72,563	―
計	2,874,170	4,567,271	4,128,040	11,569,483	224,885	11,794,369	△72,563	11,721,805
セグメント利益	2,225	108,086	59,367	169,679	14,941	184,621	―	184,621

(注)１.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

２.調整額△72,563千円は、セグメント間取引消去額であります。

３.セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

該当事項はありません。